

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団

内容
【小学校（約90分）→（約30～45分で映像等を使用したワークショップに変更）】 ●ミニコンサート 楽器紹介～弦楽器・管楽器・打楽器～ ♪アンサンブル ●みんなでフィンランディアの歌詞を作ろう！ ♪シベリウス：交響詩「フィンランディア」 「フィンランディア」は、日本語版の合唱（各校のオリジナル歌詞） ●ボディパーカッションで「運命」を表現しよう！ ♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章より
【中学校（約90分）→（約30～45分で映像等を使用したワークショップに変更）】 ●ミニコンサート 楽器紹介～弦楽器・管楽器・打楽器～ ♪アンサンブル ●音楽を身体で体感しよう！ ♪ボディパーカッション ♪服部正：ラジオ体操第一 ●第九を歌ってみよう！ ♪ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章から抜粋 →合唱が難しい場合は、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章の ボディパーカッション共演に変更。（学校に事前確認）

タイムスケジュール（標準）
学校都合で、ワークショップ代替映像を鑑賞お願い致します。 映像鑑賞ではワークショップ司会者に代わり、先生が進行しやすいようレジュメも添付 いたします。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
無し

学校における事前指導

【小学校】

映像を見ながら、ボディーパーカッションの練習と歌詞作成をお願い致します。

【中学校】

映像を見ながら、ドイツ語での合唱練習をお願い致します。

【重要】

本公演での共演演目の練習をしていただく必要があるため、
本公演の約1ヶ月前には、ワークショップ映像の鑑賞をお願いいたします。
映像URLは、後日当団からお知らせいたします。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団

演目
<p>【小学校（約90分）】 *=共演曲コーナー</p> <p><オープニング></p> <p>♪ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」より“スイス軍の行進”</p> <p><楽器紹介></p> <p>♪弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器とオーケストラを4つのグループに分け、各楽器・グループの仕組みと音を聴いて頂きます。</p> <p><指揮体験></p> <p>♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 冒頭部</p> <p><ボディパーカッション>*</p> <p>♪小さな世界</p> <p>♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章抜粋</p> <p><合唱></p> <p>♪シベリウス：交響詩「フィンランディア」*</p> <p>♪校歌（オーケストラ伴奏）*</p> <p>Enc. ♪外山雄三：管弦楽のためのラプソディより八木節</p> <p>【中学校（約90分）】 *=共演曲コーナー</p> <p><オープニング></p> <p>♪ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」より“スイス軍の行進”</p> <p><楽器紹介></p> <p>♪弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器とオーケストラを4つのグループに分け、各楽器・グループの仕組みと音を聴いて頂きます。</p> <p><指揮体験></p> <p>♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より抜粋</p> <p><オーケストラと身体を動かしてみよう！>*</p> <p>♪ボディパーカッション</p> <p>♪服部正：ラジオ体操第一</p> <p><「第九」を歌ってみよう！>*</p> <p>♪ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章から抜粋*</p> <p>♪校歌（オーケストラ伴奏）*</p> <p>♪ヴェルディ：歌劇「アイーダ」より凱行進曲（吹奏楽部など共演可能）</p> <p>Enc. ♪外山雄三：管弦楽のためのラプソディより八木節</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

指揮者：1名

ボディパーカッション&司会：1名

オーケストラ：58名（小学校）、61名（中学校）

ステージスタッフ：3～4名

事務局：1～2名

タイムスケジュール（標準）

公演開始時間：14：00 開演の場合

09：00～ 体育館へ搬入・仕込み・リハーサル準備（所要時間約2時間）

11：00～ 会場リハーサル（所要時間約30～60分）

12：00～ 進行打合せ等

14：00～ 開演

リハーサルは基本的に公演団体のみで行いますが、必要に応じて児童・生徒の皆さんにも参加いただく場合がございます。（例：中学校の吹奏楽部の共演がある場合など）

15：30頃 終演

17：30頃 撤収予定

実施校への協力依頼人員

公演前後の会場設営（出演者及び関係者の椅子、MC用マイク3本、冬期暖房手配など）2～5名程度で可能なお手伝いをお願い致します。（児童・生徒でも可能です）

演目解説

本公演プログラムは、日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲より“スイス軍の行進”をはじめとした、TV・CM、ラジオなど日常生活で一度は耳にした事がある曲目を演奏する事により、クラシックへの興味を促します。

耳馴染みの曲目が実はクラシックだった！事を知って頂いた次は、オーケストラ全体を4つのグループ（弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器）に分け、各楽器の仕組みや音色を細分化して紹介。

楽器だけでなく、指揮者の存在にも注目し、児童・生徒に実際にオーケストラを指揮して頂く、「指揮体験コーナー」を設ける事で、音楽や演奏家の“呼吸”を肌身で体感してもらいます。指揮者の違いで奏でる音楽に違いがあるのか？会場の児童・生徒皆で音楽により興味を持って頂けるように工夫しております。

共演コーナーでは、楽器ではない皆が持っている感覚に着目。ボディーパーカッション（身体表現）により、音楽への新しいアプローチを提案します。

小学校プログラムでは、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」という名曲を生徒・先生・オーケストラ・指導者と会場全員の参加型として今までにない体験を提供します。

また、美しい旋律に、日本を含め世界各国の言語（歌詞）が付けられている交響詩「フィンランディア」を用いて、児童がオリジナルの歌詞を付け、学校オリジナルの「フィンランディア」を完成することで、児童の自己表現力、共同作業によるコミュニケーション能力と協調性を育くむことを目指します。

中学校プログラムでは、誰もが知っている体験した事のある「ラジオ体操」から、音楽とスポーツを関連づけて、相互の関係から理解を深めて頂きます。

また、ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」から第4楽章の合唱部分を、生徒はドイツ語で歌うことで、多言語への理解を深め言葉の力を育むと共に、自己表現力、共同作業によるコミュニケーション能力と協調性の育成を目指します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

●ボディーパーカッション

取っ付きづらいと思われるがちなクラシックに身体表現を付ける事で、音楽を自然に身につける感覚を体験して頂きます。名曲ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」に振りをつけ、曲に合わせて参加して頂きます。

●合唱参加（歌詞作成）

フィンランディアの旋律を元に、ワークショップ時に皆さんにあげて頂いた「ふるさと」を連想させるキーワードを元に、歌詞を作成して頂きます。本公演ではその歌詞をオーケストラの演奏に合わせて歌って頂きます。

→合唱が難しい場合は、鑑賞もしくは他の演目に差し替える等、対応します。

●ラジオ体操

時代背景含め、誰もが知る旋律で、誰もが出来る体操の魅力を再発見して頂きます。

●合唱参加（第九）

「第九」の最も有名な合唱部分を、オーケストラの演奏で歌って頂きます。歌詞は原語のドイツ語で歌って頂くため、発音などをわかりやすく練習します。

→合唱が難しい場合は、鑑賞もしくは他の演目に差し替える等、対応します。

児童生徒とのふれあい

共演コーナーなど、児童・生徒も一緒に演奏に参加する部分（ボディパーカッションなど）では、オーケストラの奏者も演奏だけではなく、児童・生徒の隣に肩を並べながら参加します。

フィンランディアの歌詞の元となるキーワードをあげるための作業では、生徒と一緒に手助けをしながら作業を進めます。

学校からの要望があれば、別途楽器の練習指導など開催を検討致します。